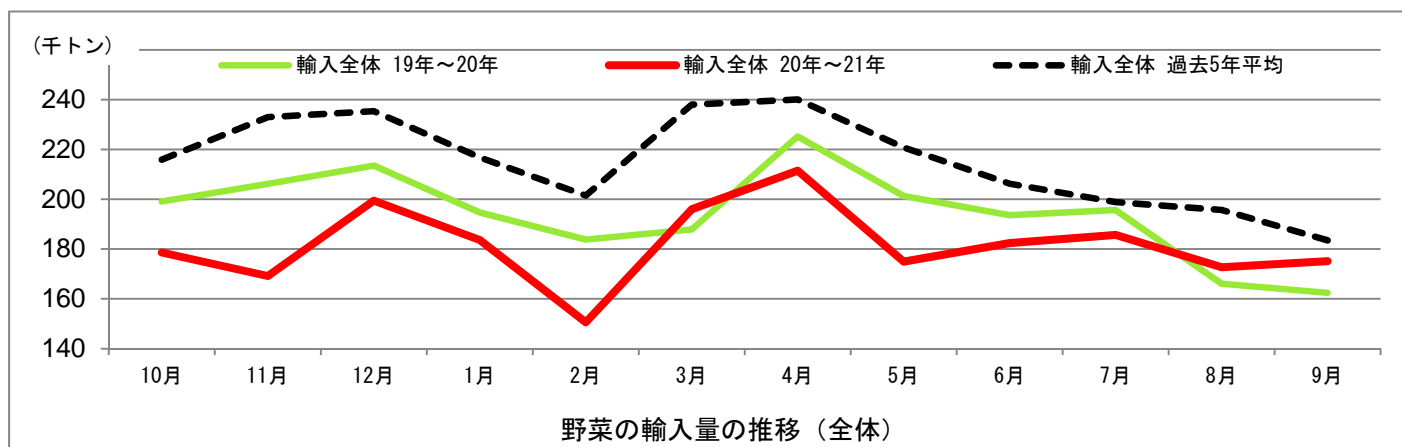


○最近の野菜の輸入動向について

①輸入野菜全体

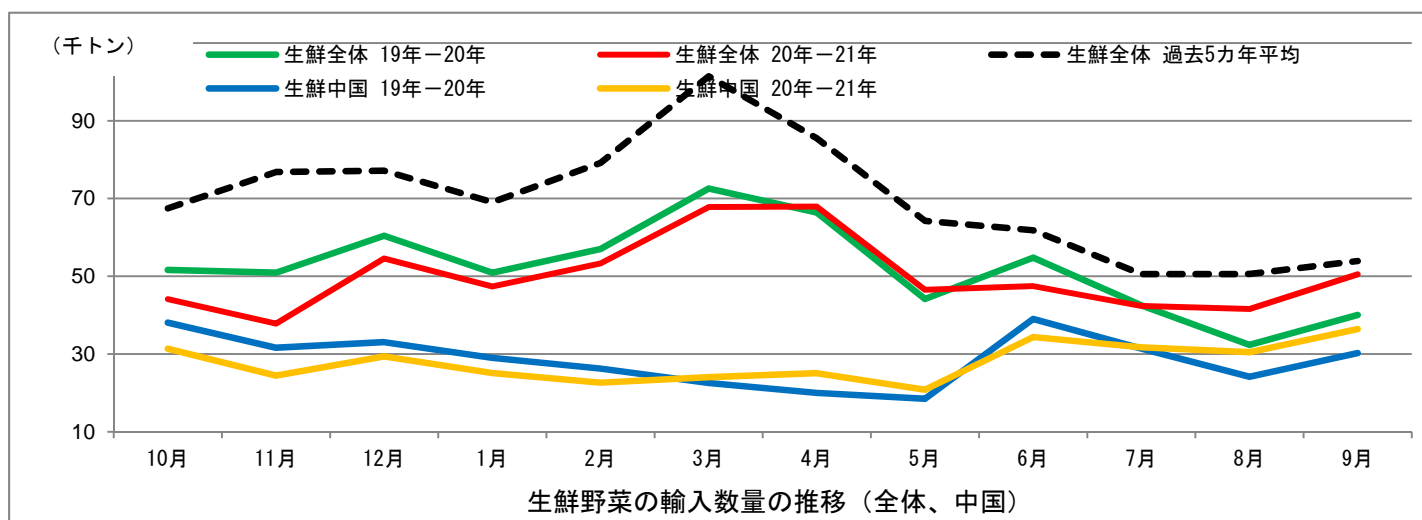
野菜の輸入量は全体では、過去5年平均を下回る推移となっているものの、本年に入り、前年を超える月も出ている（3月、8月、9月）。9月は5年平均に接近した数値となった。



（資料）貿易統計

②生鮮野菜

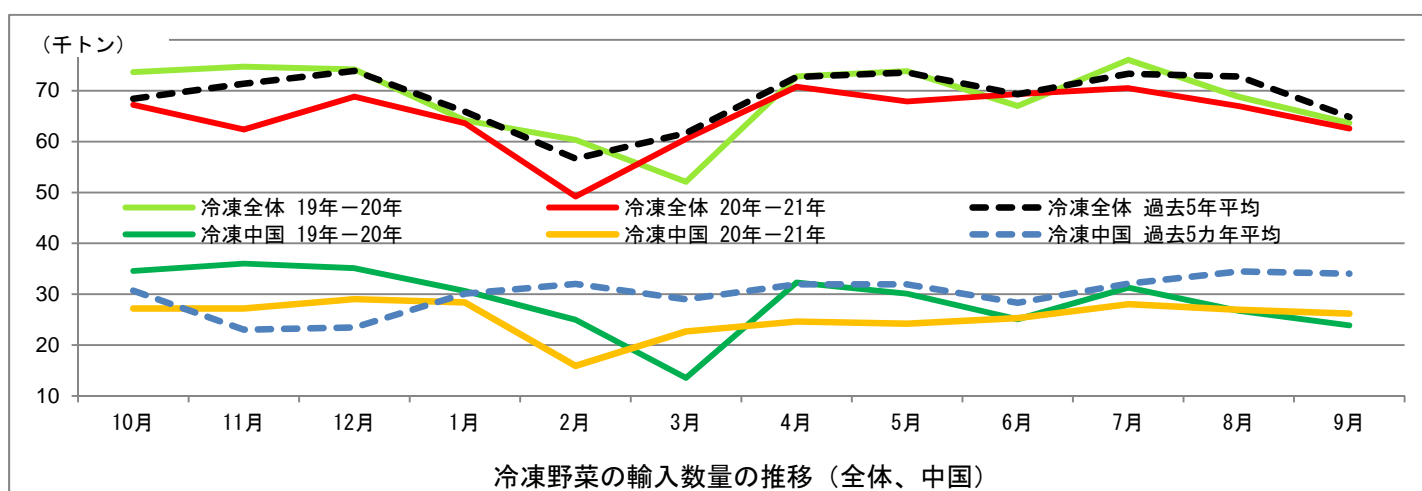
生鮮野菜の輸入量は前年値をやや下回る傾向が続いていたが、8月以降大きく逆転し、過去5年平均に近い数値となっている。中国産生鮮野菜に関しても同様の傾向で前年値を逆転した。



（資料）貿易統計

③冷凍野菜

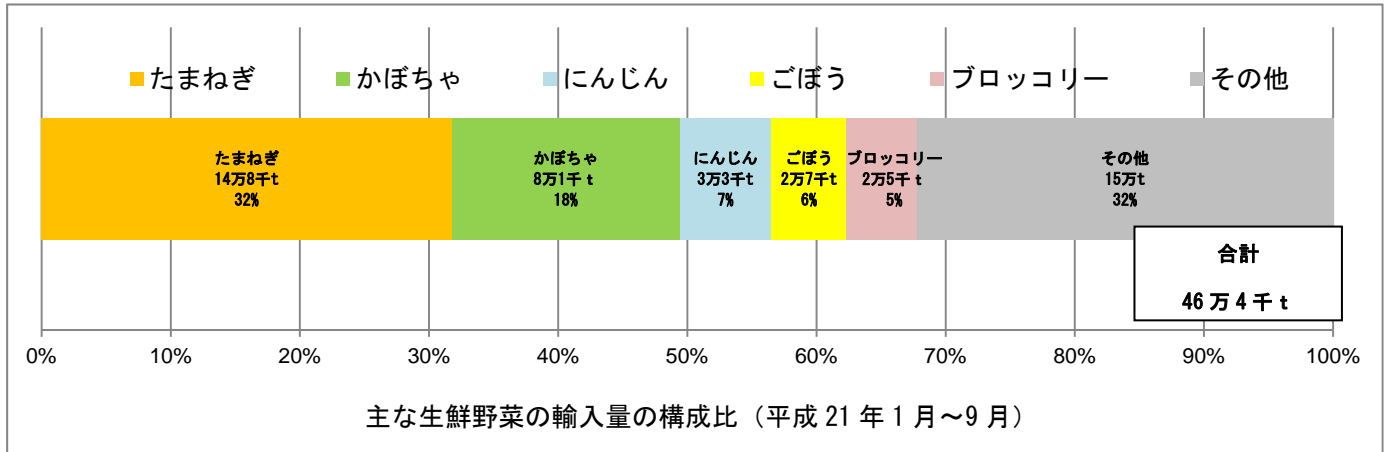
冷凍野菜の輸入状況に関しては、前年推移、過去5年平均に対しても、大きく変わらない推移となっている。



（資料）貿易統計

④生鮮野菜の内訳

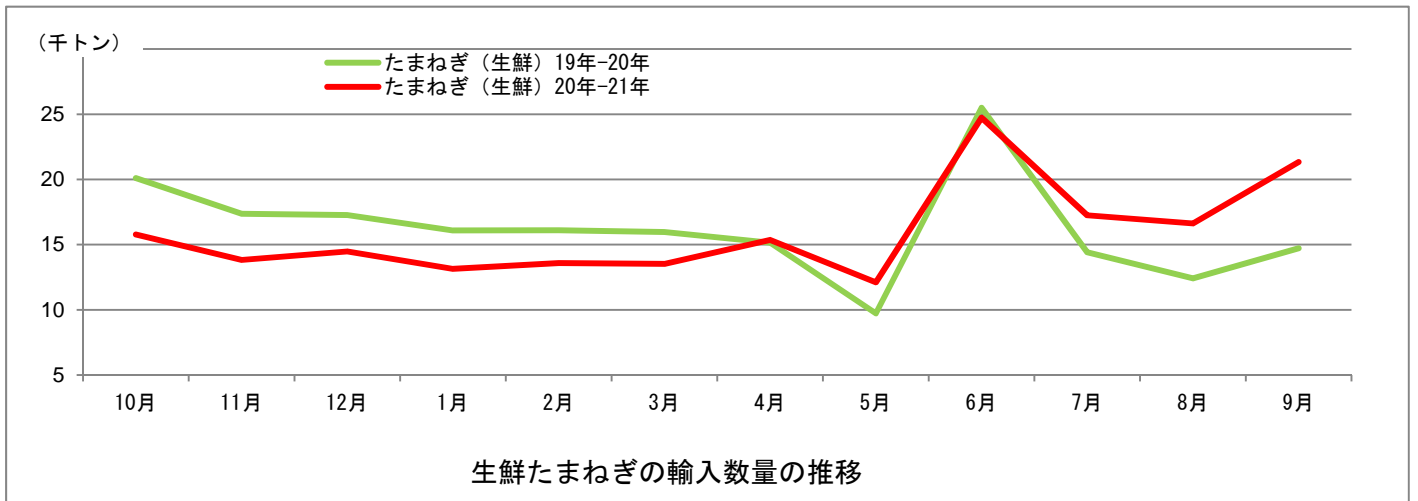
本年1月から9月にかけての、生鮮野菜の輸入を品目別に見れば、最も多いのがたまねぎで、かぼちゃ、にんじん、ごぼうがそれに次いでいる。



(資料) 貿易統計

⑤生鮮たまねぎの輸入数量

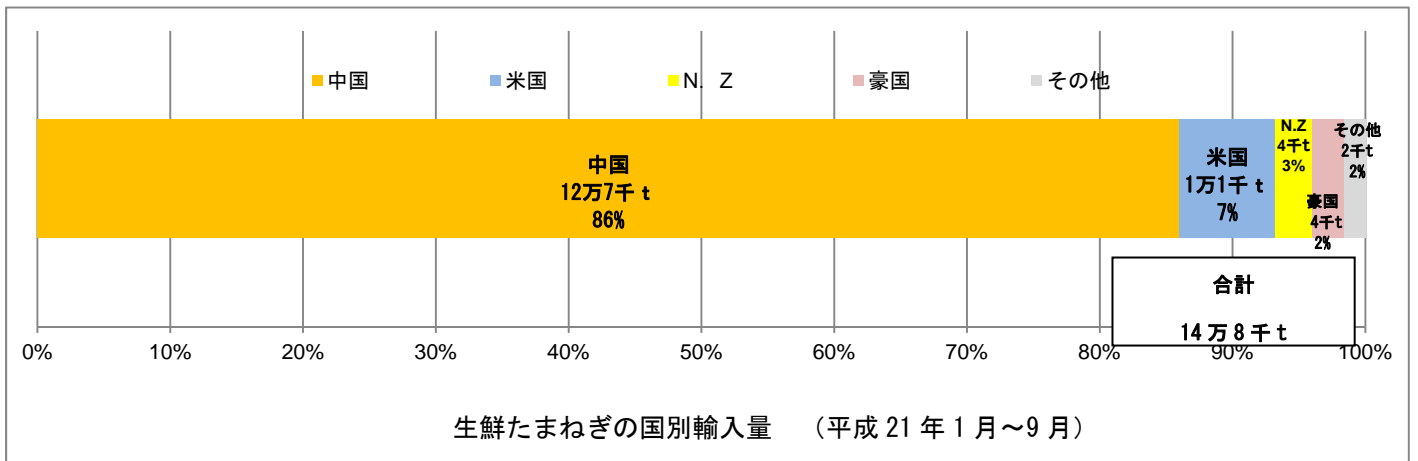
本年4月以降、輸入数量を大きく伸ばした品目は生鮮たまねぎで、特に8月は前年より4千トン、9月は7千トン増加した。



(資料) 貿易統計

⑥生鮮たまねぎの輸入先

主な輸入先は中国であり、1月から9月にかけての輸入量の8割強を占める。



(資料) 貿易統計